

## 2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 21 日

所属	政策情報学部	職名	教授	氏名	箕原辰夫
研究課題	情報表現に関する複合的な研究				
研究キーワード	情報学、数値解析	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>リアルタイム制御系での予測を伴う誘導表示系のシステムについても、2023 年度 IEEE のバルセロナで開かれた学会でドローン搭載のカメラと GPS を使って位置と向きを同定するための 3D ベースの地図航行支援システムを発表した。</p> <p>プログラミング教育については、2023 年度は 3 年次のゼミナール 2 で扱った GoDot の 3D プログラミング環境について学会で報告を行なった。GoDot は、Unity と異なり、完全ライセンスフリーの開発環境であるので、卒業してからも学生が自由に利用できる点が大きなアドバンテージだと考えることができる。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文 (査読あり)】</p> <p>Map View for Remote Control of Drones, Tatsuo Minohara, 単著, Proceedings of AIAA/IEEE 42th DASC (Digital Avionics Systems Conference), Barcelona, October, 2023.</p> <p>【学会発表等】</p> <p>GoDot によるプログラミング教育について, 2023 PC Conference, CIEC, つくば国際会議場, 8 月 18 日.</p> <p>3. 主な経費</p> <p>2022 年度から繰越し申請 (9 万円) を行ない、MacBook Pro の新しい版 (M2 MAX CPU 搭載) を購入した。2020 年度購入のものが、USB-C のポートが 1 つ壊れていることと、メモリが (8GB から) 増設できないことに拠る。新規に購入したものは、メモリは、32GB のもので、これで、同時に複数のアプリケーションを動かしても、メモリを使い切って、仮想記憶に追い出されることがないため、コンピュータの動作が遅くならなくなった。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>特になし</p> <p style="text-align: right;">(本文は 2 ページ以内にまとめること)</p>					